

植物ゲノム・遺伝子源解析センター 月例セミナー

とき 令和3年5月31日(月)
16時～17時



ところ リモート開催

*セキュリティ対策で入室時に氏名とメールアドレスが必要です。
右のQRコードか以下のアドレスにまずお入りください。

<https://kagawa-u-ac-jp.zoom.us/join/9tZUcuuqrzksG9R2eSPIAjCBdVCJfHREQjbV>

題目

「サクラ属果樹の栽培における温暖化に伴う
障害の発生と対策 ―休眠と結実に関して―」

講師

農学部教授 別府 賢治 博士

概略

近年、地球温暖化の進行に伴い、農業生産において高温による様々な障害が発生している。サクラ属果樹においては、モモやオウトウの果肉の生理障害、オウトウの花芽分化異常、オウトウやウメの結実不良、モモの幼木の凍害などの障害が既にいくつかの産地で発生している。また、今は問題となっていないものの、冬季の低温遭遇量の不足による発芽不良も生じることが予想される。今回、サクラ属果樹の温暖化による障害の現状と対策について、特に休眠と結実に関するものを紹介する。

参考文献

別府賢治, サクラ属果樹の栽培における温暖化に伴う障害の発生とその対策 (総説), 園芸学研究, 19, 219-228 (2020).

主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター
(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)